



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年1月22日(火)・1月29日(土)
第2617・2618回 例会
(本年度第26・27回)

例会場 東京第一ホテル 鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30～13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(2/5)のメインプログラム

会員スピーチ
鶴岡市長 榎本 政規 君

次週(2/12)のメインプログラム

休 会

会長挨拶

阿部純次君

■第2617回例会 会長挨拶

来週29日は、寒鰯汁家族例会を華夕美日本海さんで開催いたします。友好クラブである、会津若松南RCから4名、東京東江戸川RCより5名の計9名のお客様をお迎えしての開催となります。当クラブにおいても多数の会員参加の下、交流を図りたいと思います。2次会でのおもてなしも併せてお願いする次第です。

また、今日は例会終了後、今年度第3回目のクラブ協議会となっております。すでに何度か連絡しておりますが、14委員会の委員長より、上半期における活動の進捗報告と下半期の活動予定について報告発表していただくことになっております。よろしくお願いいたします。

自分自身がロータリーについての知識がまだまだ乏しく皆さんに伝えること自体がおこがましいのでありますが、今年の蛇年にちなみ、1枚1枚「脱皮」を繰り返しながら前へ進めたらと考えているところであります。

そういうことで、下半期の会長スピーチもなるべくロータリーに関連することを主にし、あとは職業や社会に関係することを、会長スピーチとして組み立てて行きたいと考えております。

今日は、慶應義塾大学先端生命科学研究所・塩澤明子様のゲストスピーチに時間をお取りしたいと思っております。有難うございました。

■第2618回例会 会長挨拶

今日は、恒例の「寒鰯汁家族会」でございます。「寒」の最中(さなか)であります。会津若松南RCからは、半野会長始め4名の皆さん、東京東江戸川RCからは須賀副会長始め5名の皆さんより参加いただいております。本当に天候のすぐれない中、この鶴岡によろこおいでいただきました。心より歓迎を申し上げます。

「寒鰯汁会」は、この「寒」の時期でないと「寒鰯汁会」

ではなくしますので、ご容赦をお願いする次第です。

昨年(11/26(月))には、会津若松南RCでの「蕎麦交流会」に参加させていただきました。当クラブより7名参加させていただき、大変な歓待を受けてまいりました。遅ればせながらお礼を申し上げます。

また、4/6(土)は、東京東江戸川RCの「観桜会」が開催されると聞いております。

私は、昨年初参加させていただき、美しい桜を屋形船より鑑賞させていただき、感激して帰ってまいりました。今年も東京行きを楽しみにしているところでございます。

東京東江戸川RCと鶴岡RCの友好クラブ締結は、1993年(H5年)9月18日です。今年の9月18日で、ちょうど満20周年ということになります。

また 会津若松南RCと鶴岡RCの友好クラブ締結は、1991年(H3年)10月1日でありました。今年の10月1日で、満22周年ということになるわけであります。

両クラブとの友好関係が、今年でどちらも20年突破ということになります。両クラブとは、益々友好の絆を深め、今後30年・50年と益々充実した交流が継承するよう切に希望するところであります。今後ともよろしくお願いいたします。それでは、今夜は、西川幹事の華夕美日本海さんが、腕によりをかけて、「寒鰯汁」を堪能していただきたいと思っております。

幹事報告

西川 富美子 君

鹿児島西RC

○鹿児島西RC50周年記念式典

日 時:25年3月23日(土)

記念式典:受付16:00～ 開会16:30～

祝 賀 会:開宴18:15～

場 所:サンロイヤルホテル

○歓迎会

日 時:25年3月22日(金) 18:00～

出席報告

会員数	41名
出席	24名
出席率	61.54%
前回回確定出席率	76.92%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

場 所:仙巖園(島津庭園)

私を変えたまち・鶴岡と出会って

慶應義塾大学先端生命科学研究所 塩澤 明子 さん

慶應大学で渉外担当をしている塩澤、本名佐藤明子と申します。今日は横浜出身の私が何故ここに来たのかと、13年前の2000年に劇的な出会いがあって私の人生が大きく変わりました。そのあたりをお話させていただきたいと思います。



私は1972年に横浜の鶴見区で生まれました。私が高校生の時、ベルリンの壁が崩壊するなどこれまでの学問では説明できないことが起こっているとして文系、理系に関わらず学部横断的に新しい学問が必要だと慶應大学が湘南藤沢キャンパスを開設しました。私は、大学進学を考えつつも、自分のやりたいことが見えないでいましたが、このキャンパスを知った途端、私のやりたいことはここしかないと思い、1991年に入学しました。教員も学生も新しいことをやろうという気概に燃えていて楽しい学生生活でした。当時の友人には「楽天」の立ち上げに携わった者がいたり、さまざまな形で「現状に甘んじず、自ら問題を発見・解決し、新しいことを始める」活動をする友が多く、いまでも良い刺激をもらっています。

私は卒業後、ある研究所に就職し、3年後から街づくりの仕事をするようになりました。たまたま山形県の鶴岡市のまちづくりに携わるようになり、2000年の夏にそれまで全く知らなかった鶴岡市にやってきました。ある市民参加型の新しい催事を立ち上げるため、その関係の講師たちが現地を見てみたいということで一緒についてきたというしだいです。その時はまさかここに住むようになろうとは夢にも思いませんでした。ところが翌年仕事の配置転換があり、私が鶴岡のまちづくりのメインになり、月曜日から金曜日までは東京、金曜の夜から日曜日までは鶴岡という生活を一年間続けました。市民の皆様がやりたいプロジェクトを立ち上げましょうという仕事だったので、市民の皆さんからヒアリングをしたり、グループワークをしたり、はてはご自宅に泊めてもらったりするうち、こちらの方が自分らしさを生かした充実した生き方ができるのではないかと考えるようになりました。

2001年の10月、知り合いになった農家の方のお誘いで、当ホテルで開催されたあるシンポジウムに参加し、それがきっかけとなり、母校である慶應義塾大学に転職することになり、念願の鶴岡への移住が叶いました。わたしが着任したのは「渉外担当」という職位で、慶應大学の研究内容を分かりやすく市民の皆様にお伝えする仕事を命じられました。これが今から11年前でした。

慶應大学の仕事ばかりではなく、かつてはプライベートでPCの講習をしたり、現在は鶴岡市の各種委員を拝

命したり、仲間とともに冊子「世寸」を発刊する活動を10年前から続けていたりして、鶴岡らしさをアピールする活動をしています。いろんな方を巻き込みながらどんどんその輪が広がっています。2007年2月鶴岡西郷出身の男性と結婚し、翌年8月には長男を出産しました。子育てと仕事の両立の大変さも経験し、これからは仕事では高校生関連の教育イベント、プライベートでは鶴岡という町の素晴らしさをもっともっとピーアールしていきたいと考えています。ご清聴ありがとうございました。

今年もよろしくお願ひいたします

米山奨学生 金 紅蘭 さん

こんにちは。お久しぶりです。先月からインターンシップで東京に行っています。東京は日本の心臓部で住みやすく、天気もいいです。でも東京にしていると鶴岡が懐かしくなります。中国では初給料をもらったからお世話になった人にプレゼントをします。17日初給料をもらったので、お土産を買って夜行バスで帰ってきました。今年もよろしくお願ひいたします。



寒鰯汁家族例会 1/29



美味しい寒鰯汁に笑顔がこぼれる。



委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

金 紅蘭さん(米山奨学生)

塩澤明子さん(慶應義塾大学先端生命科学研究所)

◎メイクされた方

藤川享胤・丸山隆志・西川富美子・阿部純次

青柳孝治・本間 厚・小林健郎・前田 優

牧 衛・佐藤友行・富樫松夫・富田喜美子

スマイル ☺

佐藤孝子さん 塩澤さん、スピーチありがとう。横浜懐かしかったです。

阿部純次君 塩澤様ゲストスピーチありがとうございました。

佐々木詰彦君 元財団奨学生小林真紀さんよりお土産を頂き皆様に配らせていただきました。